

法人（事業所）理念		発達障害のある子どもたちが個々の障害特性に応じ、継続した支援を受け、地域で普通に生き活きと暮らせるまちづくりを目指します。					
支援方針		子どもたちの集いの場になることはもちろん、未来につながる力を培うことを念頭に置き、自立活動やレクリエーション、クッキング等を通じ、ソーシャルスキルを高めることにも意識を向けて取り組んでいます。リトミックや創作などの感覚支援活動、療育（作業療育、運動療育）も行い、楽しく様々な力をつける活動を提供しています。					
営業時間		9 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<p>①日々の健康状態の維持と、情緒の安定を目指した支援を行います。          意思表示が困難な子どもの障害特性や発達過程等にも配慮し、小さな変化や異変に気づけるようにきめ細かな観察を行うと同時に、家庭または学校と連携を行っています。</p> <p>②年齢や発達年齢に応じた生活スキルの獲得と向上を目指した支援を行います。          食事や排泄等の基本的な生活スキルや、余暇の過ごし方等、日常に必要なスキルを身につけるための支援を行っています。</p>					
	運動・感覚	<p>①姿勢保持や身体及び手先をうまくコントロールできる力を獲得・向上させるための支援を行います。</p> <p>②個々の特性に応じて、療育グッズや活動内容を検討・準備し、実施します。</p> <p>③専門的な技術を持った支援者による運動療育・音楽療育を定期的を実施します。</p> <p>④個々の特性に応じた環境調整を行い、健康や情緒の安定が持続できるようにします。（個別スペースの活用等）</p>					
	認知・行動	<p>①学習状況や検査の結果等の情報からアセスメントを行い、認知の発達を促す支援を行います。</p> <p>②視覚的支援やスケジュール提示等により、その場に適した行動ができるように支援を行います。</p> <p>③認知の偏り（こだわりや偏食等）に対する支援を行います。</p> <p>④本の読み聞かせ、クッキング、創作活動等を実施して興味の幅を広げる支援を行います。</p>					
	言語コミュニケーション	<p>①困った時に、他者に助けを求められる力をつけるための支援を行います。</p> <p>②自分の思いや意見を相手に伝える力を獲得するための支援を行います。</p> <p>③個々の特性に応じたコミュニケーション手段を活用して、理解や意思伝達ができるように支援します。</p>					
	人間関係社会性	<p>①他者と円滑にコミュニケーションできるスキルの獲得・向上を目指した支援を行います。</p> <p>②集団の中で、他者へ目を向け意識できるように支援します。</p> <p>③日常や集団でのルールを理解し、適切な行動ができるように支援します。</p>					
家族支援		家族同士が交流できる「秋まつり」、テーマに基づいて自由に話し合いができる茶話会等を開催し、お互いの子育ての経験が交流できる場を提供しています。また家庭や事業所内、オンライン等の方法で子どもへの対応方法や自立に向けた相談支援を実施したり、当法人が主催する発達障害支援講座で経験者の話を聞いたり、知識を深めていただける活動を行っています。			移行支援		より高い自立を目指すための活動を月に一度行っています。公共交通機関の利用や野外活動等の実体験を通して、より高い社会性やコミュニケーション等のスキル獲得を目指して支援しています。 新規利用予定者が通う保育所や学校、事業所と利用開始前に情報連携をしています。
地域支援・地域連携		各学校と情報連携を行い、日々の支援に活かしています。こどもや家庭の状態によって、関係機関連携の実施を提案したり、参加したりしています。			職員の質の向上		月に一度、支援者が集まって虐待や感染症、公衆衛生、ハラスメントなどの内部研修を行っています。また、京都府が実施している虐待や児童支援に関わる研修に参加しています。
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障害支援に関わる勉強会</li> <li>・秋まつり</li> <li>・家族を対象とした茶話会</li> <li>・避難訓練（年2回）</li> <li>・宿泊体験学習</li> </ul>					